

# 令和4年度 半田小学校 学校評価一覧表

## 1 学校経営・学校運営について

重点目標	「子どもの実態と保護者や地域の願い・実情に即した教育活動を推進して心豊かにたくましく生きる子どもを育成する学校運営」の推進。
具体的な取組	○めざす教師像を共有する。○風通しのよい職場づくりの励行。○報告・連絡・相談の徹底と業務の協力体制の整備。 ○業務の効率化を目指し、組織的運営体制の整備を行う。
数値目標	1 「協働の組織体制のもとで、教職員の共通理解を大切にして教育活動や学校運営を行えている。」三者の肯定的評価が90%以上。 2 「教職員は、分掌校務に主体性を発揮して取組み、効率のよい学校運営や教育活動の工夫改善に努めている。」教職員の肯定的評価が90%以上。 3 超過勤務時間が45時間を超えない教職員を90%以上。
数値目標の中眼見直し	(変更なし)
達成状況	1 協働の組織体制のもとで、教職員の共通理解を大切にして教育活動や学校運営を行えている。三者の肯定的評価が90%以上。(肯定的評価・教職員100%・保護者95%・児童97%) 2 教職員は、分掌校務に主体性を発揮して取組み、学校運営や教育活動の工夫改善に努めている。教職員の肯定的評価が90%以上。(肯定的評価・教職員100%)
学校関係者評価	・年間を通じて、コロナウイルス感染状況の中で概ね行事(予定計画とも)は進行できており、一部変則的なものもあったが、よく頑張ってくれたと思う。 ・先生方が協力して学校運営に取り組んでいるのが、児童や保護者の方からのアンケート結果を見て伝わった。 ・コロナ禍の中で学校行事が制限せざるを得なかったり、消毒等感染対策に時間をとらたりして、本来の児童との生活が十分でない中で、それぞれの立場からのこの評価をされたと理解している。
成果と課題	・どの職員もその場その場で共通理解ができていて、安心して取り組めている。 ・どんなことにも全職員が共通理解を図り、力を合わせて取り組めたことが良かった。 ・ワークライフバランスを考慮しながら長時間勤務が改善されている。さらに改善していきたい。
今後の取組	・長時間勤務となる要因を明らかにし、さらに職員の負担を減らし効果的・効率的な学校運営ができるようにする。 ・業務の協力体制を維持するとともに、教職員の個性や特性が発揮できる校務分掌を考える。 ・学校運営協議会やPTA総会、半小短信(学校だより)、学校ホームページ等で学校運営・経営等について情報発信していく。

## 2 人権教育の取組に関して

重点目標	学校生活全体を通じた人権教育の推進。
具体的な取組	○子ども一人一人を大切にしながら、子どものもつよさを引きだす学習活動の充実。 ○自分からすすんで、元気な声であいさつのできる子どもを育てるあいさつ運動の実施。 ○人権学習の保護者・地域への公開。 ○年間指導計画に基づいた授業の実施と人権課題と直接向き合っている方々から直に学ぶ授業の実施。
数値目標	1 「学校は人権を尊重する考え方や態度を養う教育が行われている。」に保護者の肯定的評価85%以上。 2 「学校は、自分や友だちへのいじわるや悪口がなく、みんなと仲よく安心して生活することができる。」に児童の肯定的評価85%以上。
数値目標の中眼見直し	(変更なし)
達成状況	1 「学校は人権を尊重する考え方や態度を養う教育が行われている。」保護者の肯定的評価85%以上(肯定的評価・保護者94%) 2 「学校は、自分や友だちへのいじわるや悪口がなく、みんなと仲よく安心して生活することができる。」児童の肯定的評価85%以上。(肯定的評価・児童90%)
学校関係者評価	・現状段階では問題はないと思うが、高学年(5～6年生)にはどうして人権は守らなければならないのか、先生方も含め、学校が一つとなった認識と理解は必要になってくると思う。 ・アンケート結果から、人権教育の大切さがしっかりと伝わっていると思う。
成果と課題	・人権学習で学んだことを生活に生かすことは、継続していきたい。 ・児童の言葉遣いや差別的言動が見受けられ、根気強く取り組む必要がある。 ・郡人研の会場校として講師を招聘しながら研究授業や研修会を行い、研究を深めることができた。 ・学校生活アンケートを毎学期実施し、個々の児童悩み等について早期発見、早期解決に努めてきた。
今後の取組	・児童の言葉遣いや差別的言動を見抜き、どの子も安心して生活できる学校環境を構築したい。 ・人権教育の取組を保護者や地域に発信していく。 ・全学年において、様々な立場の方々とふれあい体験やコロナ関連の人権学習を推進していく。 ・家庭や幼稚園、中学校、地域とも連携した人権教育を推進していく。

## 3 生徒指導の取組に関して

重点目標	○自尊感情と他を思いやる心の育成。 ○異学年交流や体験活動の重視。
具体的な取組	○学習や活動を子どもに委ね、自覚と責任を持って取り組ませ、最後までやり遂げるような支援の充実。 ○一人一人の思いや願いを生かし、お互いに大切にしたい、助け合う集団づくり。(異年齢集団活動を充実させる。)
数値目標	1 「話す人を見て、話を最後まで聞ける」と自己評価(肯定的評価)をする児童が90%以上。 2 「自分からあいさつができる」と自己評価(肯定的評価)する児童90%以上。 3 「学校は、子どもたち一人一人の人格を尊重し、社会的資質や行動力を高める教育を行っている」保護者の肯定的評価85%以上。 4 「児童の実態や家庭環境を細かく把握し、児童一人ひとりが輝ける場所(学校)づくりをしている。」と答える教職員が90%以上。
数値目標の中眼見直し	(変更なし)
達成状況	1 話す人を見て、話を最後まで聞ける児童の肯定的評価90%以上。(肯定的評価・児童92%) 2 自分からあいさつができる。児童の肯定的評価90%以上。(肯定的評価・児童97%) 3 学校は子どもたち一人一人の人格を尊重し、社会的資質や行動力を高める教育を行っている。保護者の肯定的評価85%以上。(肯定的評価・保護者93%) 4 「児童の実態や家庭環境を細かく把握し、児童一人ひとりが輝ける場所(学校)づくりをしている。」と答える教職員が90%以上。(肯定的評価・教職員93%)
学校関係者評価	・児童数が少ないので、個々のケースに対して取組はしやすいと思う。それぞれの児童のケースバイケースの対応は可能なので、より一層の取組をお願いしたい。 ・児童のアンケート結果の%が高いのは、先生方が児童との信頼関係がしっかりとできていて、個に応じた指導ができていたからだと思う。
成果と課題	・自分からあいさつができる児童が増えてきた。 ・担任一人が抱えるのではなく、学校全体で取り組む体制ができてきている。 ・普段はゆっくり話す時間がとれていないが、座談会で生徒指導や教科の指導について話せる時間がとれて良かった。 ・更にあいさつを活発にする指導について模索していきたい。
今後の取組	・職員の様々な特性をもつ子への理解と指導力が一層向上するよう研修を実施していく。 ・生活目標に設定するなど、挨拶の啓発を行っているが、常時挨拶運動を行ってみる。 ・今後も外部人材を活用した読み聞かせ等を実施し、人の話を最後まで聞ける習慣を身に付けさせる。 ・困ったことを気軽に相談できる同僚性、協力性のある風通しの良い職場環境を継続させ、教職員全体で組織的に取り組む。

## 令和4年度 半田小学校 学校評価一覧表

### 4 学力向上の取組に関して

重点目標	○基礎的・基本的な知識技能の習得。 ○学習意欲の向上と学習習慣の定着。 ○課題解決のための思考力・判断力・表現力の育成。
具体的な取組	○「よくわかる」授業, 「楽しい」授業の創造。 ○与えた課題の点検とやり直しの徹底。 ○家庭読書及び家庭学習の確保と習慣化。 ○授業と家庭学習を連動させた授業運営や反復学習。 ○知識技能の習熟具合の評価活動。 ○子どもが考える時間や表現し合う活動を十分確保するなど主体的な学習の徹底。
数値目標	1 「自分で宿題などの家庭学習の時間をつくり, 計画的に学習ができている」と肯定的評価する児童が80%以上。 2 「先生は, パソコン等を使ってわかりやすく示したり, 困っているときにアドバイスをくれたりする」に児童の肯定的評価85%以上。 3 「学校は, 子どもたち一人一人の習熟の程度に応じた教育が行われている。」に保護者の肯定的評価85%以上。 4 「学校は, きめ細かい指導に心がけ, 子どもの学力を伸ばす教育を行っている。」に保護者の肯定的評価85%以上。 5 「児童が考えたり, 伝え合ったり, 振り返ったりする活動を十分確保するよう努めている。」に教職員の肯定的評価90%以上。 6 「児童のつまずきや課題を把握して, 個に応じた授業や補充学習の徹底に努めている。」に教職員の肯定的評価90%以上。
数値目標の中間見直し	(変更なし)
達成状況	1 「自分で宿題などの家庭学習の時間をつくり, 計画的に学習ができている」に児童の肯定的評価80%以上。(肯定的評価・児童79%) 2 「先生は, パソコン等を使ってわかりやすく示したり, 困っているときにアドバイスをくれたりする」に児童の肯定的評価85%以上。(肯定的評価・児童97%) 3 「学校は, 子どもたち一人一人の習熟の程度に応じた教育が行われている。」に保護者の肯定的評価85%以上。(肯定的評価・保護者92%) 4 「学校は, きめ細かい指導に心がけ, 子どもの学力を伸ばす教育を行っている。」に保護者の肯定的評価85%以上。(肯定的評価・保護者90%) 5 「児童が考える時間や表現し合う活動を十分確保するよう授業改善に努めている。」に教職員の肯定的評価90%以上。(肯定的評価・教職員93%) 6 「児童のつまずきや課題を把握して, 個に応じた授業や補充学習の徹底に努めている。」に教職員の肯定的評価90%以上。(肯定的評価・教職員93%)
学校関係者評価	・児童も保護者も, 肯定的評価が85%に達していない項目があるのが気になる。特に子どもが家で学校でのことを話すことで, 学校との連携につながり, ひいては学力向上につながっていくと思う。児童でのアンケートでも, 家庭学習の項目が毎年%が下がっている。 ・児童それぞれの理解度が異なると思うが, 学問の楽しさ, あるいは読書等による未知の判別, 好奇心の向上等, その都度の教育指導の変化が個々の興味を向上させると思う。 ・職員・児童・保護者の“ある目標”へのベクトルが合っていないのでは？ ・現在の環境で先生方の苦心には心から応援している。新型コロナウイルスでの休校による授業内容の遅れ等で大変だと思う。 ・家庭学習や授業の話題については学校でしっかりと取り組んでいても, 家庭や個人の性格, 年齢による時期などもあるので難しいと思う。
成果と課題	・GIGAスクール構想の推進やチャレンジタイムの設定など, 組織的に学力向上に取り組み, 一定の成果を上げることができた。 ・「分かる授業」「ねらいのはっきりした授業」「振り返りをする活動」に向けた授業改善が必要である。
今後の取組	・学級懇談, 教育相談, 家庭訪問等で家庭学習の実態や仕方等について機会あるごとに情報交換していく。 ・校内研修を充実させ, 個々の教師の指導力や授業力を向上させる。

### 5 学校安全の取組に関して

重点目標	○災害安全・交通安全に関する知識と対応能力を高める。
具体的な取組	○災害に関する図書の整備。授業, 講習会の充実を図る。 ○児童が地震災害時の危険に対し, 主体的に避難行動がとれるようにする。 ○防災避難訓練を定期的に行い, 児童が高い意識のもと参加できるようにする。 ○自分の命は自分で守る意識を高める。 ○安心メール(まちcomiメール)の保護者加入率を高める。 ○登下校における右側一列歩行等, 交通安全に対する意識を高め, 実践できるよう徹底を図る。 ○自転車利用者には安全な利用とヘルメットの着用を図る。○学校施設・設備に異状がないか日々確認し, 担当者が月々, 点検し, 定期的点検を行う。
数値目標	1 「学校でした交通・生活・防災などの安全に関する授業や活動を, 生活に生かしている」と肯定的評価で答えた児童の割合が90%以上。 2 「学校は, 子どもの安全管理について配慮した指導が行えている」と肯定的評価で答えた保護者の割合が90%以上。 3 「学校安全(防災・生活・交通)の組織運営体制は整い, 教職員は各自のとるべき任務を把握している」と肯定的評価で答えた教職員の割合が90%以上。
数値目標の中間見直し	(変更なし)
達成状況	1 「学校でした交通・生活・防災などの安全に関する授業や活動を, 生活に生かしている」と肯定的評価で答えた児童の割合が90%以上。(肯定的評価・児童93%) 2 「学校は, 子どもの安全管理について配慮した指導が行えている」と肯定的評価で答えた保護者の割合が90%以上。(肯定的評価・保護者94%) 3 「学校安全(防災・生活・交通)の組織運営体制は整い, 教職員は各自のとるべき任務を把握している」と肯定的評価で答えた教職員の割合が90%以上。(肯定的評価・教職員93%)
学校関係者評価	・学校内での防災・安全対策はもちろん, 学校側に責を生ずるが, 100%全面的に背負うのではなく, 保護者や地域防災組織などとの協議も必要と思われる。 ・安全は全てに優先する。(Safety Priority)保護者の安全に対する考え方(意識)が稀薄のようで多少気になる。 ・校長先生による毎朝の立哨に感謝している。
成果と課題	・警察と連携し, 交通指導をした。大きな事故等なく安全に気を付けて登下校できている。 ・防災訓練をやってみて, 次に生かすことができていた。 ・安全に健康にすごせている時にこそ, 安全・健康への取組の継続が大切である。
今後の取組	・地域と連携した防災教育の推進。幼小中と連携した引き渡し訓練, 引き渡しカードの整備・防災教育の実施。 ・地域住民によるスクールガードを組織し, 登下校の交通指導や見守り活動の実施。

## 令和4年度 半田小学校 学校評価一覧表

### 6 学校・家庭・地域連携に関して

重点目標	学校運営協議会(コミュニティスクール)の推進。 ふるさと半田を知り、誇りに思い、感謝し、愛する教育の推進。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動や学校運営の様子の積極的な情報発信。</li> <li>○保護者や地域参加の教育活動の充実と保護者、地域公開の授業・行事の充実。</li> <li>○担任と保護者で子どもの生活・学習の様子について連絡を密にする。</li> <li>○地域社会を素材とした学習活動の展開。</li> <li>○地域の伝統的な文化・産業や地域で活躍する人々から直接学ぶ機会の充実。</li> </ul>
数値目標	1 「学校は保護者の声や意見に耳を傾け、よりよい学校づくりに努めている」に肯定的な評価の保護者が90%以上。 2 「学校は、教育内容や子どもの様子をよく伝えている」に肯定的な評価の保護者が90%以上。 3 「保護者、地域の教育力を活用した学習活動を積極的に行っている。」に肯定的な評価の教職員が90%以上。
数値目標の中間見直し	(変更なし)
達成状況	1 「学校は保護者の声や意見に耳を傾け、よりよい学校づくりに努めている」に肯定的な評価の保護者が90%以上。(肯定的評価・保護者92%) 2 「学校は、教育内容や子どもの様子をよく伝えている」に肯定的な評価の保護者が90%以上。(肯定的評価・保護者89%) 3 「保護者、地域の教育力を活用した教育活動を積極的に行っている。」に肯定的な評価の教職員が90%以上。(肯定的評価・教職員100%)
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況がある程度の落ち着き(ワクチンや投薬も含めて)をみせなければ、何をしようともできない状況は理解できるが、それぞれとの連絡は密にしてもらいたい。</li> <li>・校外学習は多い方がよいと思う。子どもの頃の体験は良い思い出になると思う。</li> <li>・このご時世では、積極的に地域連携を図るのは難しいと感じるが、アンケート結果を見て先生方の頑張りを感じた。</li> <li>・保護者や地域との連携がしっかりできているのが結果から分かった。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日や個人懇談等で学校の様子を知っていただく機会は減ったが、電話や連絡帳、メール等による日常の連絡はできていた。</li> <li>・地域の達人の方々から児童が学ぶことがたくさんあるので、これからも積極的に連携を図りたい。</li> <li>・半小短信・学級便り・HP等で学校の情報を発信してきた。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者の理解を得ながら、学級経営・学校運営をしていく。</li> <li>・地域の人材を活用した教育を推進していく。取り組んだことを保護者、地域に知らせていく。</li> <li>・授業の動画配信や保護者に対する発信の方法を工夫・改善していく。</li> </ul>

### 7 体力向上の取組に関して

重点目標	○運動に親しむ機会を増やし、すすんで運動する子どもの育成。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体力アップ100日作戦がんばりカード」を作成し、体力向上意欲を高める。</li> <li>○運動に親しみながら、積極的に体力向上に取り組めるよう授業改善を図る。</li> <li>○栄養教諭と連携し食育の推進を図る。</li> <li>○養護教諭と連携し、健康教育や健康保持増進に努める。</li> <li>○年間を通して放課後に体づくり活動を行う。</li> </ul>
数値目標	1 「体を動かした遊びや運動を積極的に行っている。」と答える児童が90%以上。 2 「体育の授業では、めあてをもって活動している。」と答える児童が80%以上 3 「外遊びを奨励し、年間を通して体力向上のための指導をしている。」と答える保護者が85%以上
数値目標の中間見直し	(変更なし)
達成状況	1 「体を動かした遊びを積極的に行っている。」と答える児童が90%以上。(肯定的評価・児童89%) 2 「体育の授業では、めあてをもって活動している。」と答える児童が80%以上(肯定的評価・児童90%) 3 「外遊びを奨励し、年間を通して体力向上のための指導をしている。」と答える保護者が85%以上(肯定的評価・児童87%)
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に体力(児童生徒)の低下が叫ばれているが、最低限の運動は必須である。</li> <li>・保護者の車での送迎には疑問を感じる。歩いて通学している児童は元気・体力がありそう。保護者アンケート結果でC回答が多いのが気になる。</li> <li>・休み時間、先生も外に出て一緒に遊んでいる姿を見て、子どもたちも楽しいだろうと思う。体力向上にもつながっていると思う。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Waっかタイムの創意工夫と充実を図る。</li> <li>・雨の日は感染対策を講じながら、体育館で「長縄大会」など、体を動かすイベントをやってみてはどうか。</li> <li>・教師も外に出て、子どもと一緒に遊んだり、遊びの様子を見ていた。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科における授業改善や業間や昼休みの遊び、Waっかタイムなど、引き続き運動量の確保に努める。</li> <li>・家庭や養護教諭、栄養教諭と連携し、健康の保持増進や食育の推進を図る。</li> <li>・「体力アップ100日作戦」を全学年で積極的に取り組み、体力向上の意欲を高める。</li> </ul>